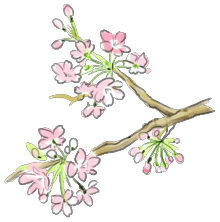
日にあらたに

札幌市立日章中学校
学校便り　第 423 号
令和３年３月 25 日発行
TEL831-6196　FAX831-2754
https://www.nissho-j.sapporo-c.ed.jp



令和２年度修了式に託す思い

校長　三分一　晶

令和２年度も、修了式の日となりました。「修了」には、一定の学業を残すところなく無く全て修めることという意味があり、今現在自分が所属している学年における一年の学校生活を通して、自分がどれだけ成長できたかを確認してみることや、苦手意識のある教科の学習内容について、もう一度復習のし直しに取り組んでみたりすることも大切なことだと思います。また、学年が一つ上がる、新しい年度に向けて自分の目標を立てることも、この時期に見合う大事なことだと思います。この一年間を振り返り、皆さんは、どのような場面や事柄が思い出されるでしょうか。仲間と協力して、一つの作品を仕上げた達成感や充実感、授業中などに意見を交流する中で、直接心に響いた友情の広がりなどは、いつまでも忘れることなく、持ち続けていたいものです。勿論良いことばかりではなく、後悔の念が深く染みついたように残っている記憶もあるかもしれません。「時間の流れ」は、現実には止めたり戻したりはできないということを分かってはいるものの、改めて思い返してみると、できることならあの時に戻りたいと思うことが沢山思い出されることは、誰にでもあることだと思います。成長に関わる成果と課題は、反省点を含めて未来の自分の生活に生かしていきたいものだと思います。

さて、みなさんは、４月から一つ学年が上がり、新２年生、新３年生となります。学年が進むと自分ではあまり意識はしていなくとも、周りから寄せられる期待は、自然に大きく膨らんでくることがあるものです。これまでに身に付けた、多くの習慣や考え方、知識や経験などを結び付け、一層自分に磨きをかける次の一年にしてほしいと思います。１年生の皆さんは、先輩になる準備は進んでいますでしょうか。自分が中学生になってから、どのような思いで、今日までの中学校生活を送ってきたかを思い出しながら、後輩の不安を解決してあげられる、頼りになる先輩になってください。２年生の皆さんは、卒業生となる覚悟を持たなければなりません。先日、皆さん方のあこがれの存在であった、今年度の３年生が、沢山の思い出を胸に、晴れやかな表情で本校を卒業していきました。最高学年としての任務や重責をしっかりと受け継ぎ、自分たちらしさを大切にしながら、日章中の顔として、1，2 年生をリードしてほしいと期待しています。

コロナについては、今もなお、心配な状況が続いています。今年一年で、コロナの対応で学校の生活様式が大きく変わりました。「三密を避けることや手洗いと換気の励行」などは、今後も対策として継続していく必要があります。気を緩めることなく、コロナへの対応を、自分事として捉え、今自分に何ができるのかを考えながら前向きに行動していくことはとても大切なことです。これからも、自分たちの健康や安全について、注意し合い励まし合って生活していってほしいと願っています。

最後になりますが、明日からは、春休みになります。雪が解けて、自転車等に乗ることも多くなることでしょう。交通事故や落雪事故等に十分注意するとともに、LINE 等の SNS を使い楽しむことも増えるかもしれません。書き言葉は、気持ちが伝え辛い言葉だと言われます。顔が見えないことをいいことに、誤解を与えてしまったり、心無いことをつぶやいてしまったりすることもあると言われています。特長をよく理解した上で、使い方を間違わないように留意して使用してください。そのうえで、学年が一つ上がるための「いい準備」にしっかり取り組み、令和３年度１学期始業式に、また元気で登校してください。

今までありがとうございました　～ご退職・離任される先生方～

＜ご退職＞

校長　三分一　晶　（ご退職）

「耳順」の域の歳とはなったものの未熟故その域への到底は叶わず、力不足のまま38年間の教員生活を終えます。本校にて最後の3年間を過ごせたことは身に余る光栄で万感の感謝です。保護者の皆様、地域の皆様、大変お世話になりました。

教諭　井手　良市　（ご退職）

まさかまさか、と思う間に還暦を迎えました。最後の勤務校となる日章中学校で、素直な生徒たちと、信じられないような自然の脅威の中で生活したこと、一生忘れないでしょう。

保護者の皆様や地域の方々、健康にはくれぐれも留意されてお過ごしください。

＜転出＞

教頭　石井　貴司　（札幌市教育委員会教育相談担当課･指導主事）

新施設開設準備のため札幌市教育委員会に転勤することになりました。一年という在職期間でしたが、新型コロナウイルス感染症対策に追われる激動の一年で、最も記憶に残る学校となりました。たくましく笑顔で過ごす生徒たちの姿に毎日励まされ、楽しく過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

教諭　髙橋　健太郎　（厚別区　厚別中学校へ）

３年間の勤務となりましたが、皆さんと過ごす日々はとても充実していました。感謝の気持ちで溢れています。保護者の方々をはじめ、地域の方々にもとてもお世話になりました。ありがとうございました。

教諭　大瀧　立佳　（北区　新川西中学校へ）

教員として、初めて担任を持たせていただき、卒業まで共に過ごせればと思っていましたが、異動となりました。素直で、明るく元気な子どもたちと共に成長させてもらえて、心から幸せを感じていました。お別れは本当に寂しいですが、今回の出会いに感謝し、新たな地で頑張ります。まだまだ未熟なところも多く、課題も多い中ですが、さらに教員として成長できるように努力していきたいと思います。お世話になりました。

教諭　中城　章恵　（手稲区　手稲中学校へ）

先日、初めての卒業生を送り出し、この度、手稲中学校へ転勤することとなりました。素直で活発な子どもたちに恵まれ、自分自身も学びながら充実した日々を送ることができました。

日々支えていただいた皆様に、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

教諭　坂井　昭彦　（豊平区　月寒中学校へ）

1年間と短い期間でしたが、生徒の素直さと明るさに助けられながら、過ごすことができました。生徒の皆さん、保護者の皆様、1年間ありがとうございました。

教諭　足立　和佳奈　（西区　西陵中学校へ）

教員になり初めて日章中に着任してから5年間、真っ直ぐで明るい生徒のみなさんに囲まれ、保護者の皆様、教職員の皆様には温かく支えていただき、とても楽しく充実した日々を送ることができました。生徒とともに学び、笑い合いながら、私自身も教員として、また人として成長させてもらいました。皆様、本当にありがとうございました。

教諭　下村　愛　（中央区　中央小学校へ）

この７年間、日章中を拠点に、様々な困難さのある中学生の支援に携わってまいりました。日章中の生徒の皆さんと直接関わることは無かったのですが、毎朝挨拶を交わすたびに、たくさんの元気を分けていただいたように思います。今まで大変お世話になり、ありがとうございました。

栄養教諭　佐藤　道子（豊平区　西岡中学校へ）

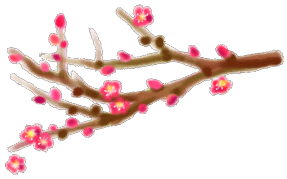
あっという間の５年間でした。成長していく子供たちの様子を見守ることができ、毎日楽しく勤めることができました。これからも素直な心と元気な挨拶を大切に、日章中学校らしさがずっと続いていくことを願っています。保護者の皆様にも、お世話になりました。今までありがとうございました。

学校事務職員 加藤　竜弥　（白石区　幌東中学校へ）

日章中学校では３年間勤務させていただきました。４月より同じ白石区の幌東中学校に転勤となります。地震や新型コロナウイルス感染症など、いろいろなことがありましたが、皆様に助けていただき過ごすことができました。本当にありがとうございました。

校務助手 村田 みゆき（厚別区　共栄小学校へ）

5年間お世話になりました。私は生徒の皆さんと接する機会は殆ど無かったのですが廊下や階段ですれ違う度、沢山挨拶をしていただき明るい気持ちになりました。ありがとうございました。これからもどうぞお元気で、皆さんとご家族のご健康とご幸福をお祈りします。

学校図書　三上　松美　（西区　琴似中学校へ）

コロナ禍のなかで過ごしたこの1年、生徒の皆さんの頑張る姿に、私はずいぶん力をもらいました。皆さんから「こんにちは！」という元気なあいさつの声を聞けなくなるのは、とてもさびしいことです。日章中学校の図書館は、他校にくらべて、とても広く、ゆったりとした時の流れを感じることができる充実した施設です。読書の空間、学びの空間、そして癒しの空間として、皆さんにもっともっと利用してほしいと思っています。楽しい1年間を共に過ごすことできたこと、深く感謝いたしております。
ありがとうございました。